

## 検査内容変更および中止のご案内

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記に掲げる検査項目におきまして、検査内容の変更および検査受託を中止させていただきたくご案内申し上げます。

何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

■実施日 2022年 12月 1日(木)ご依頼分より

### ■変更項目および変更内容

案内書掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	変更箇所	新	現	備考
89	4177 5G310	TSHレセプター抗体定量 (TRAb定量)(第3世代)	報告書名称	TSHレセプター抗体	TSHレセプター定量	適正な名称への変更。

※その他検査要項に変更はございません。

■最終受付日 2022年 11月 30日(水)ご依頼分をもって受託中止

### ■検査受託中止項目

案内書掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	受託中止理由
94	4591	PAC/PRA比 (アルドステロン/レニン活性比)(ARR)	「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」への対応。

### ■代替項目

案内書掲載頁	項目コード 統一コード	検査項目	検査方法	基準値	所要日数	備考
未掲載	4589	PAC/PRA比 (アルドステロン/レニン活性比)(ARR)	計算法	100未満	2~4	*00

#### ARRの陽性判定について

PAC/PRA比(ARR)  $\geq 200$ かつPAC  $\geq 60$ pg/mLで陽性と判定する。但し、CLEIAによる測定値が普及、一般化し、CLEIA法による至適カットオフ値が確立するまでは、ARR 100~200を「ARR境界域」と位置付け、ARR 100~200かつPAC  $\geq 60$ pg/mLも暫定的に陽性とし、患者ニーズと臨床所見、特に低カリウム血症や副腎腫瘍の有無、年齢などを考慮して、機能検査実施の可否を個別に検討する。また、PAC(CLEIA法)  $< 60$ pg/mLでもPAは完全には否定できない。(原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021より抜粋)

尚、今回の変更によりARR算出時に計算していましたアルドステロン値のRIA換算は廃止となります。

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは当社インフォメーションまでお申し付けください。